

# 2022年度第1回CTK放送番組審議会 議事録

2022年7月5日

16:00～17:30

ケーブルテレビ可児 会議室

## 【出席委員】

委員長 海道 清信 (名城大学都市情報学部名誉教授)  
副委員長 伊藤 佳林 (可児市NPO協会職員)  
委員 今井悠一郎 (可児青年会議所 理事長)  
大脇 慶二 (株式会社サカエ屋 代表取締役)  
林 雅恵 (市長公室秘書広報課秘書係主査)  
細野 裕子 (中山道案内人倶楽部 会長)

(敬称略、五十音順)

## 【CTK】

谷口 公一 (代表取締役社長)  
石川 浩紀 (取締役兼 ICT ソリューション部長兼メディアサービス部長)  
長尾 武彦 (メディアサービス部 担当部長)  
種田 眞子 (メディアサービス部メディアG)  
堀江 可純 (メディアサービス部メディアG) (記録係)

## 1. 開 会

事務局:2022年度第1回放送番組審議会を始めさせていただきます。

## 2. あいさつ

谷口社長:今回お集まりいただいた皆様の多くは、2年半前に委員に就任していただきましたが、コロナ禍ということもあり一度もお会いできないうえまでした。今回は2年半ぶりの対面会議です。CTKは普段、11ch・12chの番組を自主制作していて、地元の楽しい話題をお届けしています。地元の人に届く番組、災害情報、地域のお店を応援できる番組などを作っています。双方向にコミュニケーションのとれる番組作りにも挑戦していて、今年度からはその一環で「地域・人のwaプロジェクト」も始めました。人や予算に限りはありますが、いい番組制作ができるよう日々取り組んでいます。忌憚のないご意見、また厳しいご意見も頂戴できたらと思います。よろしくお願ひします。

### 3. 議事

#### (1) 自主放送番組についてのご意見・ご感想

- ①地域・人の wa プロジェクト まこのファーマーズ・アタック！
- ②地域・人の wa プロジェクト じゅんじゅんの収穫レストラン
- ③可児市ふるさと応援番組 いきマイ+（プラス）

#### <視聴ご意見>

#### 「地域・人の wa プロジェクト まこのファーマーズ・アタック！」 4月放送分

**委員長:**まず、番組についての質問を、その後ご意見・ご感想を伺います。この「地域・人の wa プロジェクト」は、農業と食がテーマになっていますが、このテーマにした狙い・決め手はなんでしょうか。

**事務局:**視聴者と双方向に関わることができる番組を作りたいと考えていました。可児市と御嵩町には、畑や農作業をされている方が多くいらっしゃいます。そういった方々に番組に出演していただくことで、番組を通して人の輪を広げられると思い、テーマに決めました。

**委員長:**家の近くを散歩していても畑仕事をしている人をよく見かけます。こういったテーマを取り上げるのはとても面白いです。がんばってほしい。以前は特徴がない市だと感じていましたが、定年退職後に可児市に引っ越してから魅力に気付きました。都会とは違うよさがたくさんあります。「ファーマーズ・アタック！」は、地域の特徴を生かせるいい企画だと感じています。

続いて、「ファーマーズ・アタック！」を実際に見てのご意見をお願いします。

**委員:**農業ではなく「農作業」がテーマなのがいい。そうすれば野菜だけでなく花を育てても紹介できます。市内・町内に農作業をしている人は、兼業や専業問わずたくさんいます。地域の人が主役、という考えがとてもいい。今後も期待しています。

**委員:**テレビをつけたら YouTube や NETFLIX などが見られるこの時代ですが、農業をされている年代の方々はケーブルテレビをよく見られるのではないのでしょうか。

**委員:**視聴者層・ターゲットと、取り上げているテーマがマッチしていて、双方向に輪を広げるには最高にいい方法だと思います。私自身、出勤前に畑仕事をしています。なんの問題もない素晴らしい番組だと感じました。SDG s の観点からもいい。

委員:地域の人の普段の姿が垣間見えるいい企画だと思います。「近所のおじいちゃんが出ているよ」となると見たい人もいるから、また新しい視聴者層の獲得に繋がりそうです。

委員:出演する農作業をしている人や、リポーター・カメラマンの温かさが伝わってきます。人と人との繋がり、ぬくもりがとてもよく分かります。ローカルならではの温かさですね。ただ、コーナー内にいろんな映像が出てきて、いつ撮った映像なのかが分からないのが惜しいと思います。映像に出てくるお花が、放送された時期に咲くものじゃないと気になりました。取材したのがいつなのか分かるよう、テロップがあるとうれしいです。

委員長:季節季節で違う野菜ができるように、咲く花も違います。確かに、月や時期が分かるといい。コーナーは種田さんと出演者のやりとりが自然でいいと思います。農作業をしている方とナチュラルに会話できているのがいいところ。出演者はどうやって選んでいるんですか？

事務局:今回見ていただいた映像で取材した方は、車で通りがかったときに見かけて、「農作業をしている人がいる！」とその場で取材交渉をしてロケに挑みました。ボケの花を見せてくださった方は、事前に情報をいただき取材に伺いました。

委員長:環境・場所・人によって農作業にもバリエーションがあります。例えば、専業で野菜をつくっている人と、家庭菜園をされている人でも全然ちがう。NHKの番組「晴れ、ときどきファーム！」の可児市・御嵩町版をやっても面白いのでは。

#### <視聴ご意見>

「地域・人のwaプロジェクト じゅんじゅんの収穫レストラン」 6月放送分 愛岐ケ丘

委員:可児市には高齢者の多く住む団地がたくさんあります。食を通しての交流は新しいレシピを知ることができるのでとてもいいですね。種田さんのナレーションが今年度になってからすごく上達したと感じています。

委員:愛岐ケ丘は可児市の中で一番高齢化率が高い団地です。その団地内での集まりを取り上げるのは、ほかの団地でも同じことができたりするきっかけになりそうです。地域の方々が、自分が住んでいる以外の場所で行われている取り組みなどを知る、という意味でもいい取り上げ方だと思います。

委員:スタートは農業だけれど、そこからどんどん色んな人と繋がっています。お年寄りが出てくると、ちびっこが出てくる。私にも孫が三人いますから、いい輪の繋がり方だと感じています。食に関連して、SDGsについても詳しく取り上げてみては。

委員: こういう場所でこういったことをやっているんだと知ってもらえるきっかけにもなる、いい番組だと思います。

委員: 高齢者サロンを取り上げていましたが、今後子ども食堂を取り上げる予定はありますか？

事務局: あります。先日、可児市川合の子ども食堂へ取材に伺いました。今後放送を予定しています。

委員: 今、子ども食堂への関心が高まっています。とてもいいと思う。番組を見て訪れる人も増えるかもしれません。その地域の人しか知らないことを皆さんに知ってもらえるのでいい番組だと思います。

委員長: 可児市民の半分は団地に住んでいます。団地ごとに色々なイベントや取り組みをしているけれど、ほかの団地との横の繋がりは弱いです。愛岐ヶ丘では、野菜の無人販売をやっている人もいます。なぜか売れた野菜以上のお金が入っていることがあるそうですよ。また、隣の団地で行われるイベントを知らないこともあります。番組を見て、あの団地はこういうふうにイベントなどを開催しているんだなと知ることができます。様々な年代の人、職業の人、市内に住んでいる人に広めてもらえたらいいのではないのでしょうか。また、出演者に女性が多いのが気になりました。男性にも出てほしい。

#### <視聴ご意見>

「可児市ふるさと応援番組 いきマイ+ (プラス)」 6月放送分 まるごと子育てる～む

委員: 可児市の広報紙だけでは伝えきれない情報も番組で放送できています。

委員長: 番組では堅い情報を砕けた感じで伝えてもらえるのがいいところですね。

委員: まるごと子育てる～むの「子育て座談会」には私も出演しています。放送を見て、自分目線ではもっと明るくやればよかったなと感じることがあります。子育ての価値観が多様化している現代、押し付けがましいかななどと考えていると話するのが難しいです。「チョコレートは何歳から食べさせる？」など、家庭によってルールも違うので…。それに、収録段階でたくさん話したもののなかから、切り取って編集されたものが放送されます。実際の放送を見て、こういうふうに使われたんだなと知ります。

委員: マーノ内の子育て支援室の存在を知っている人・知らない人がいると思います。コーナー前か後に、どこにあるどんなところなのか、そういった情報も出してもらえたら知りたい人にとって有効なのでは。

委員:子育て支援室の情報はテロップで出ている回と出ていない回があります。たぶん放送時間の問題なのかなと思いますが、毎回入れてほしいです。

委員:子育ての話題はどうしても孫に重ねて見てしまいます。とても勉強になります。委員の話聞いて、テレビで表現する難しさも感じました。

委員:おじいちゃん・おばあちゃんにとっては、孫を預かるのに役立つ情報がたくさんあります。若いお母さんにもこの番組を見てほしいなと思います。特に、尾木ママの講演会。まとめてDVDにして配布してほしいくらいです。子どもが小さいときの子育てが、成長した後どういう影響を与えるのか、番組を見て保護者である方たちに考えてほしい。

委員長:NHK+をよく見るのですが、CTKにも昔放送した番組を気軽に見られる機能などありますか？ そういったものがあるとより多くの人に見てもらえると思います。

事務局:CTKとしてもそう考えていて、現在準備中です。過去のをどこまで見ていただけるかは分かりませんが、可能な限り見ていただけるよう準備できたらと考えています。

委員長:チャンネルガイド、昔は誰がこれを読むんだろうと思っていましたが、今は利用しています。字が細かいので見づらいです。もっと読みやすくなりませんか。

事務局:チャンネルガイドはグループ局と共同で製作しているため、すぐに変えるのは難しい状況です。

## (2) そのほか 11ch・12ch の番組について

委員:子育ての番組をお父さんお母さんに見てほしいです。番組表を見て自分で見つけるのがベストですが、事前に映像(CM)を流すなど、もっと告知をしてもいいのでは。

事務局:番組の詳細情報は、チャンネルガイドとリーフレットに載せています。ただしチャンネルガイドをお送りしているのは、一定以上のコースをご契約の世帯だけです。リーフレット(番組表)はCTKと契約している・していないにかかわらず、毎月「かにさんくらぶ」と一緒にエリア内の世帯に配布しています。また、種田などがSNSでも特別番組の告知を行っています。

委員:御嵩町には「子どものあそびとまなびの情報誌ぽけっと」があります。事前に番組の情報をもらえたら、尾木ママの講演会の番組告知を載せてもらえるかもしれません。

**事務局:**たくさんの方に番組を見ていただきたいですが、告知が課題です。「広報かに」には毎月、「いきマイ+」の放送内容を載せていただいています。しかし御嵩町の広報紙で可児市の広報番組の告知をするのは難しいかと思えます。

**委員:**かにみた！の更新は水曜日の午後 5 時 15 分。この時間は働いているとなかなか見られません。番組放送時間を見直してもらえたらと思います。

**事務局:**毎年、加入者アンケートを行っています。その中で、番組をよく見る時間帯を伺っています。12ch は、お子さんが帰宅してから家族が揃うまでに見ているという方が多いようです。そのため、現状はこういった編成にし、再放送を組み込んでいます。今後もより多くのみなさんにご覧いただける編成に努めていきます。

#### 4. 報告事項

**委員長:**報告事項をお願いします。

**事務局:**7月9日から、全国高等学校野球選手権岐阜大会が始まります。毎年、可児・加茂地区の高校を中心に、生中継・録画放送を行っています。可児市にある KYB スタジアムの試合は 12ch ですべて生中継します。地元校の試合が他の球場で行われる場合は、11ch で生放送するほか、録画放送も行います。地元の企業にもスポンサーになっていただき、高校野球を応援しています。

前回以降、今日までの間に、総務省に報告が必要な放送事故はありませんでした。次回の放送番組審議会の開催は、今年 12 月ごろを予定しております。本日はご出席いただき、ありがとうございました。

以上